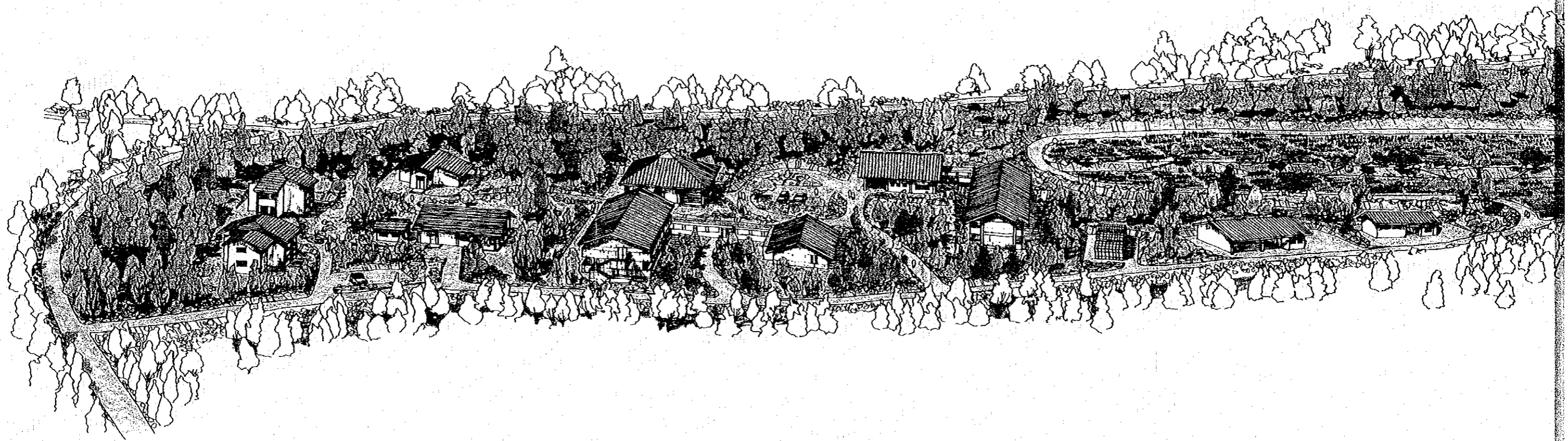
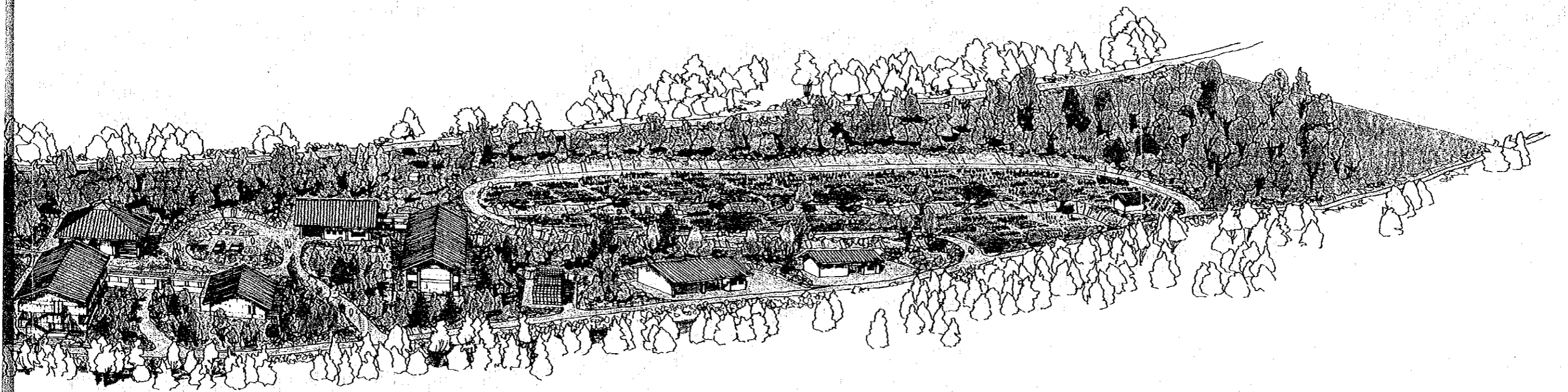
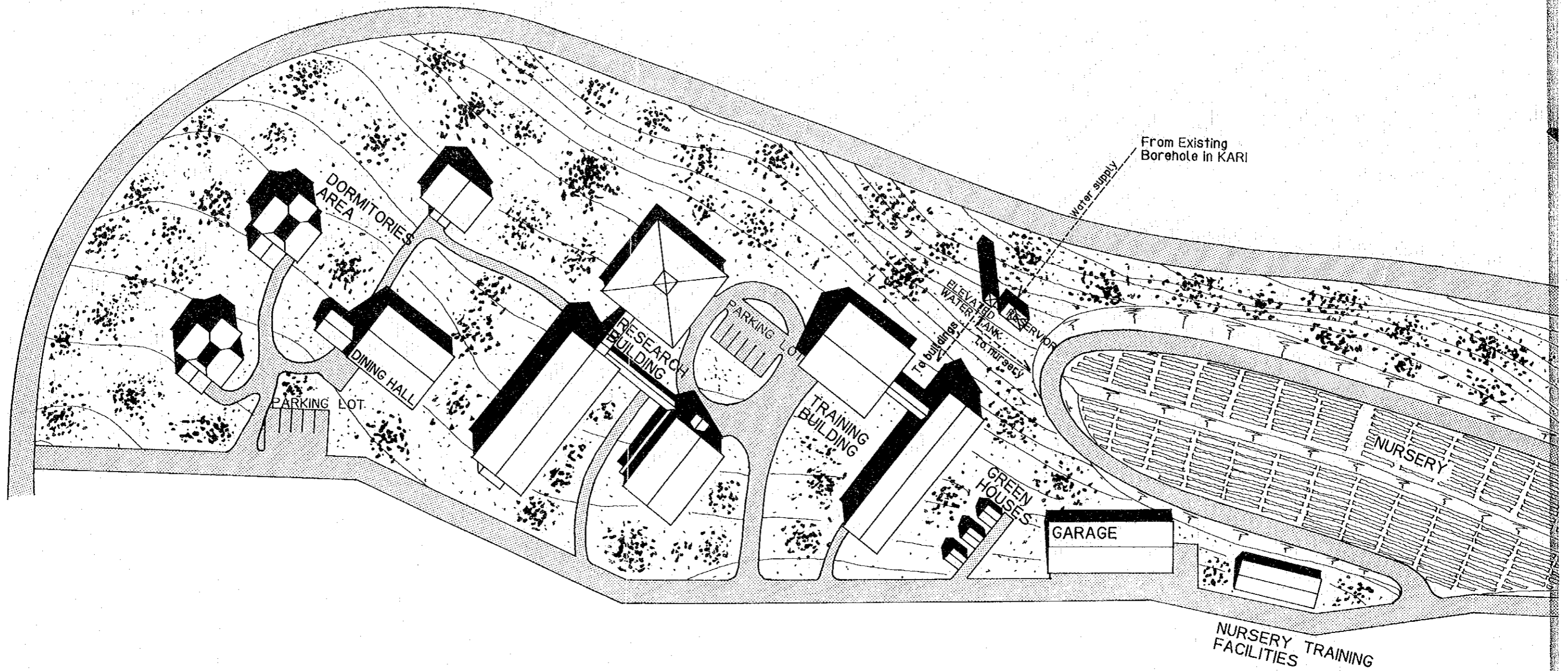


5-5 基本設計図

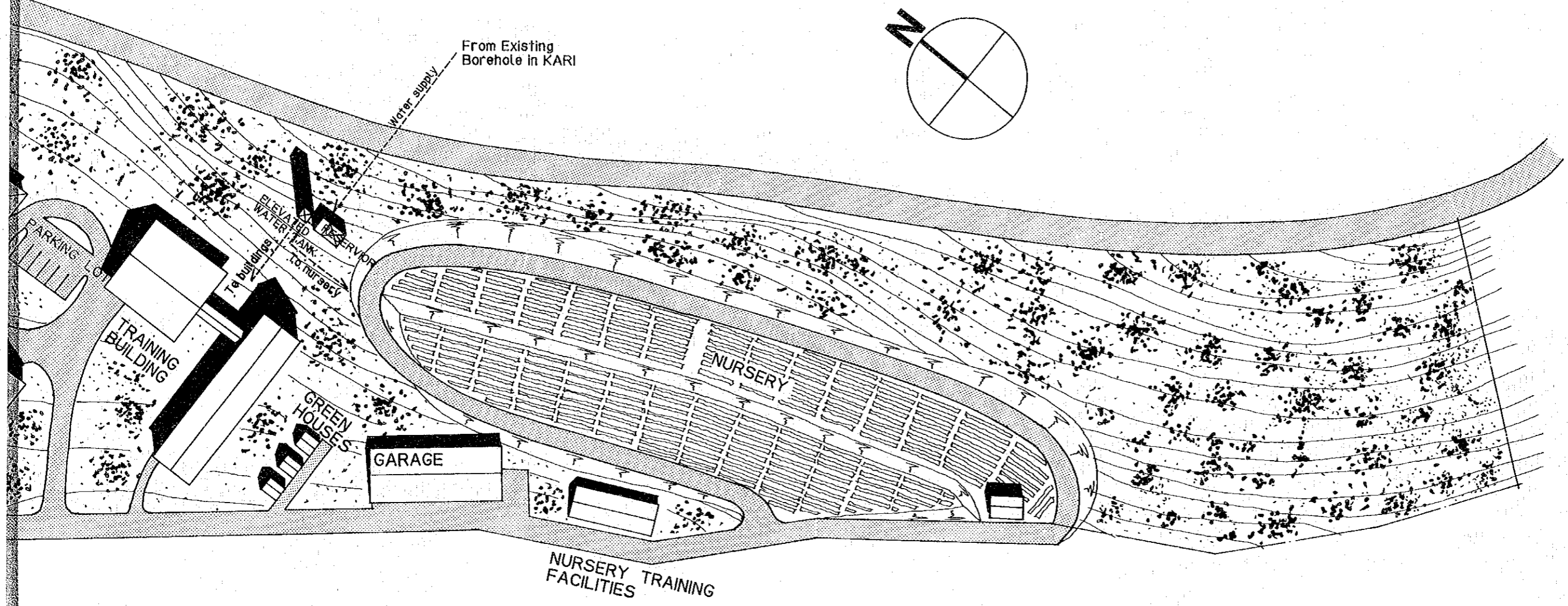




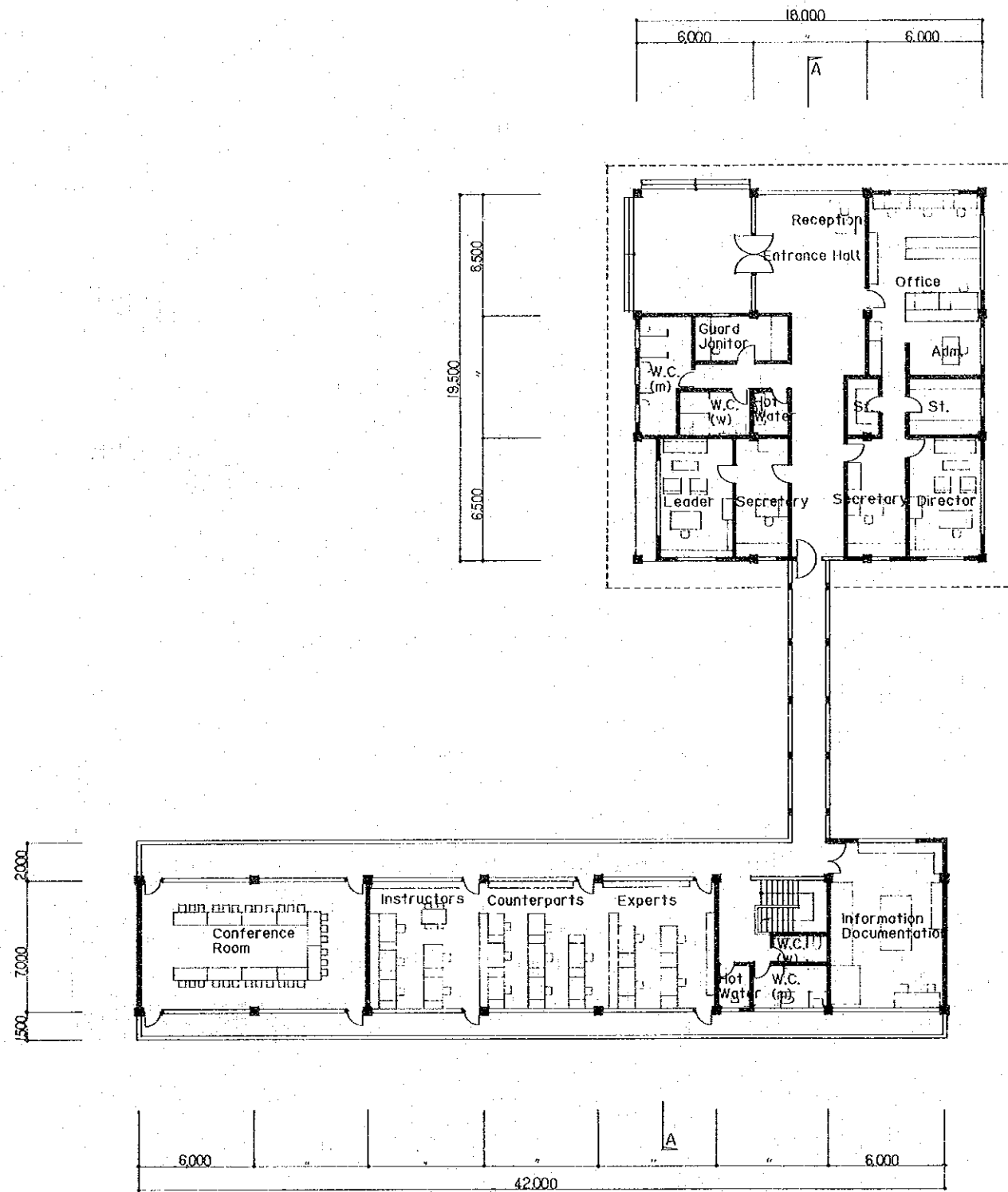
MAIN CENTRE, MUGUGA



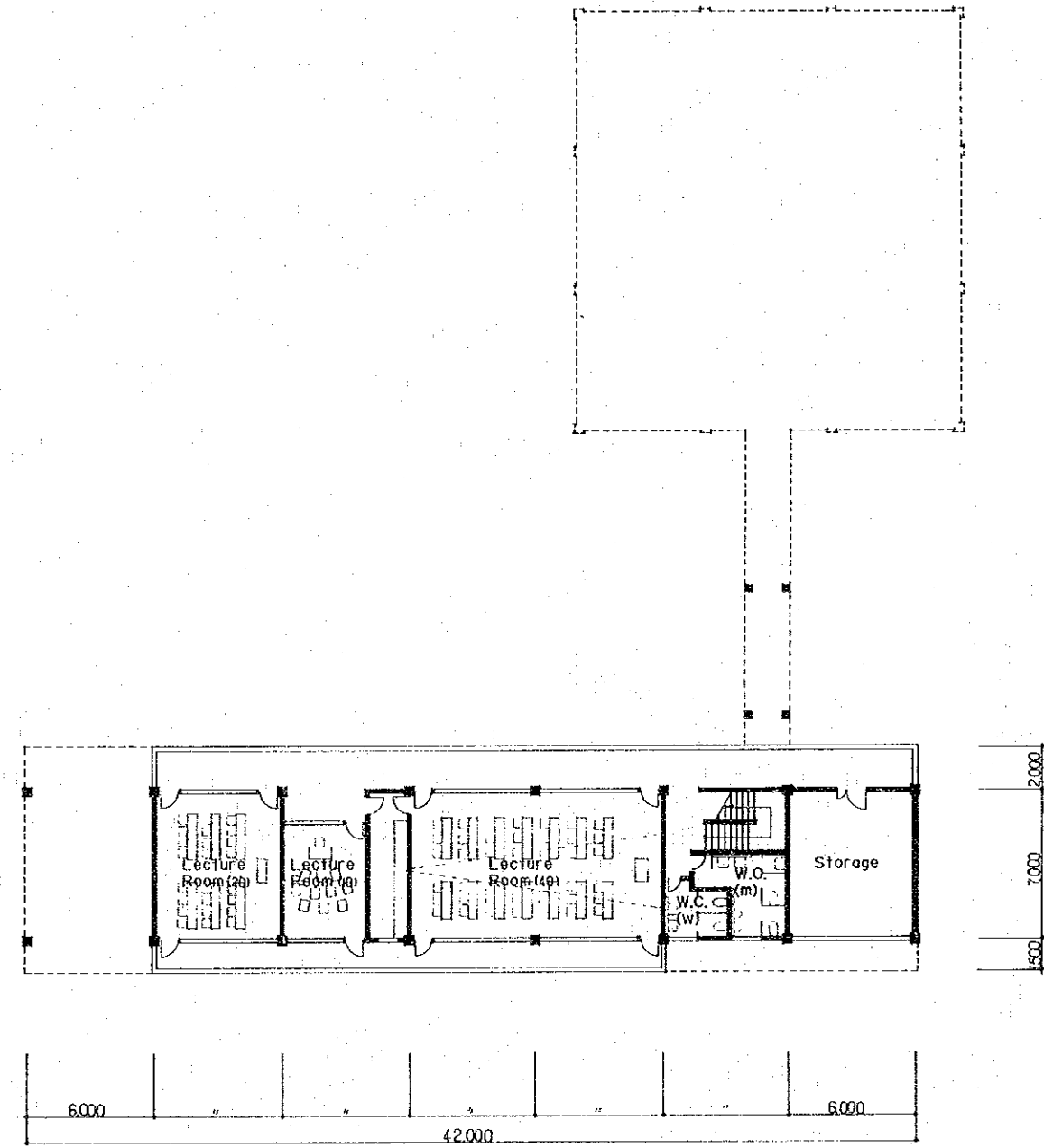
MUGUGA SITE PLAN S = 1 : 1000



MUGUGA SITE PLAN S = 1:1000

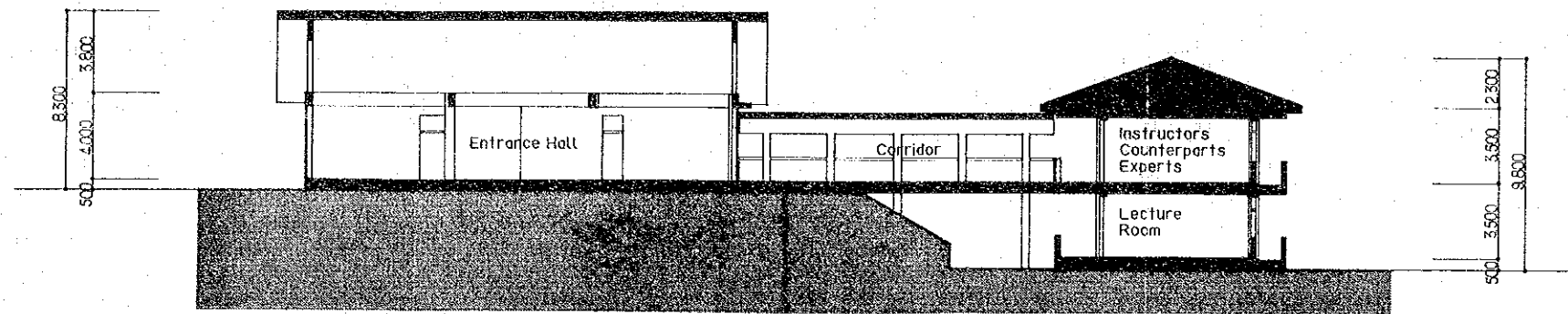


FIRST FLOOR PLAN

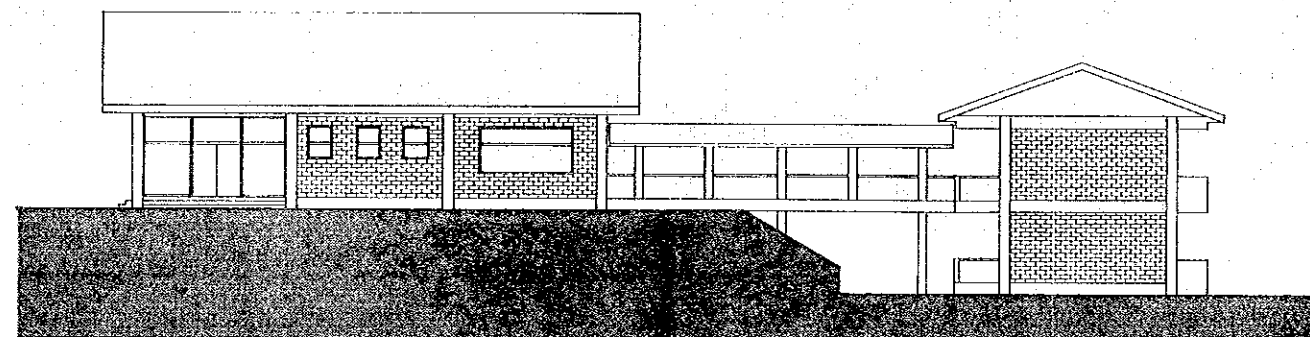


GROUND FLOOR PLAN

NO.	BY	DATE	APP.	REVISION	PROJECT TITLE	SCALE	PROJECT NO.
					THE ESTABLISHMENT PROJECT OF THE NURSERY TRAINING AND TECHNICAL DEVELOPMENT CENTER FOR SOCIAL FORESTRY IN THE REPUBLIC OF KENYA	MUGUGA	
						TRAINING BUILDING PLAN	

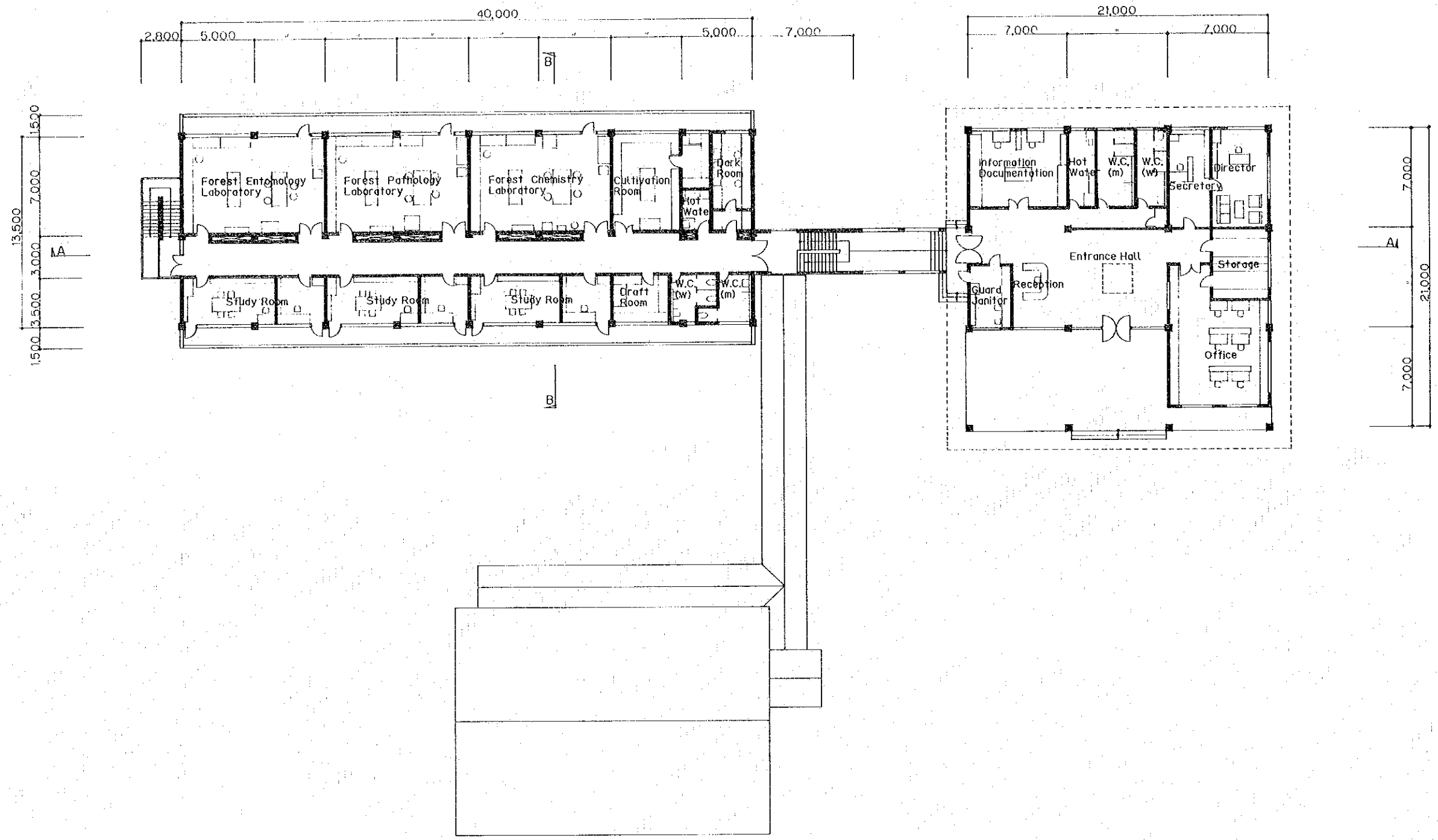


A~A SECTION



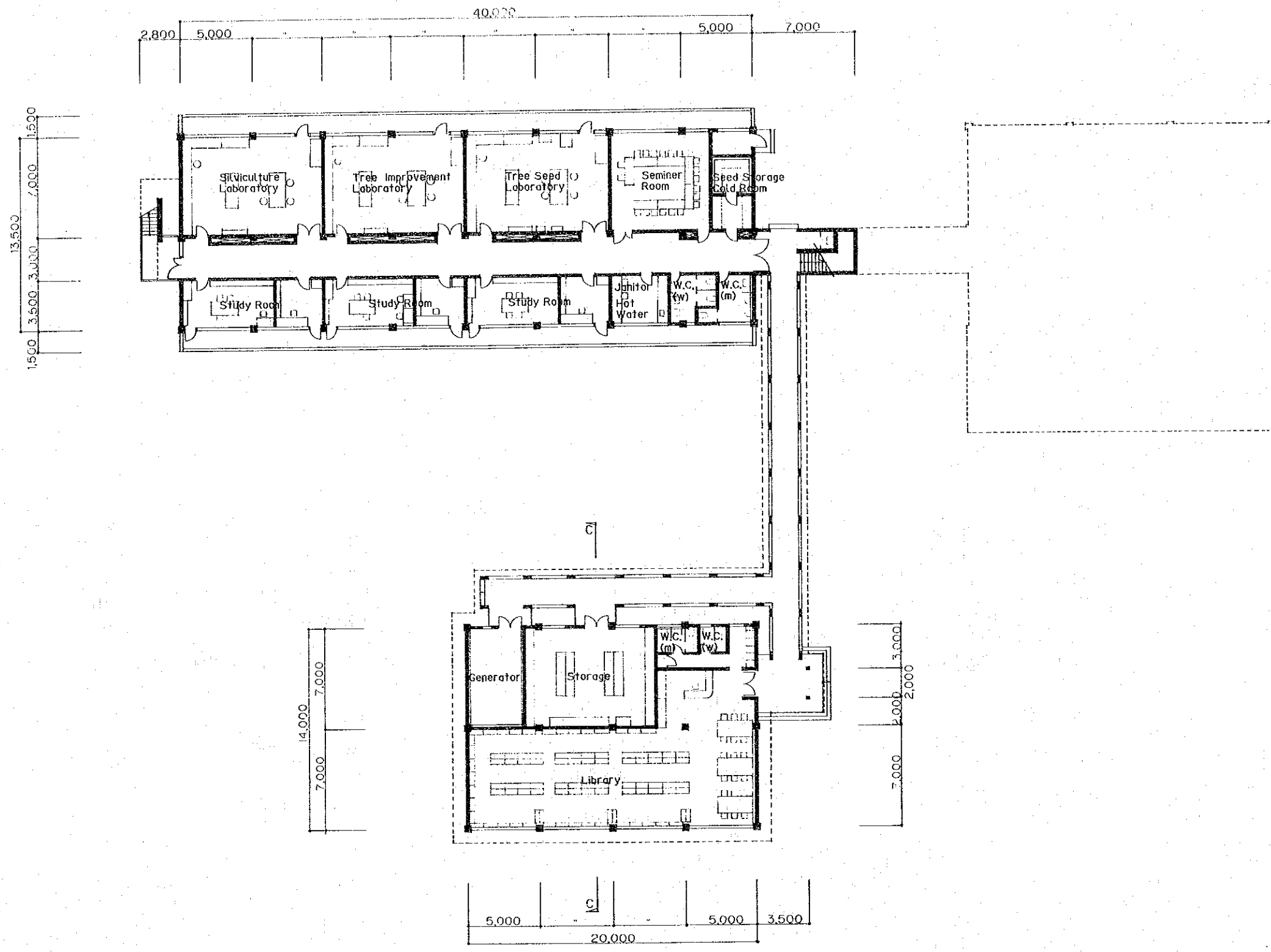
ELEVATION

NO.	BY	DATE	APPD.	REMARKS	PROJECT TITLE		DATE	PROJECT NO.
					<p style="text-align: center;">THE ESTABLISHMENT PROJECT OF THE NURSERY TRAINING AND TECHNICAL DEVELOPMENT CENTER FOR SOCIAL FORESTRY IN THE REPUBLIC OF KENYA</p>			
							<p>MUGUGA</p> <p>DRAWING TITLE: TRAINING BUILDING SECTION ELEVATION</p>	SCALE



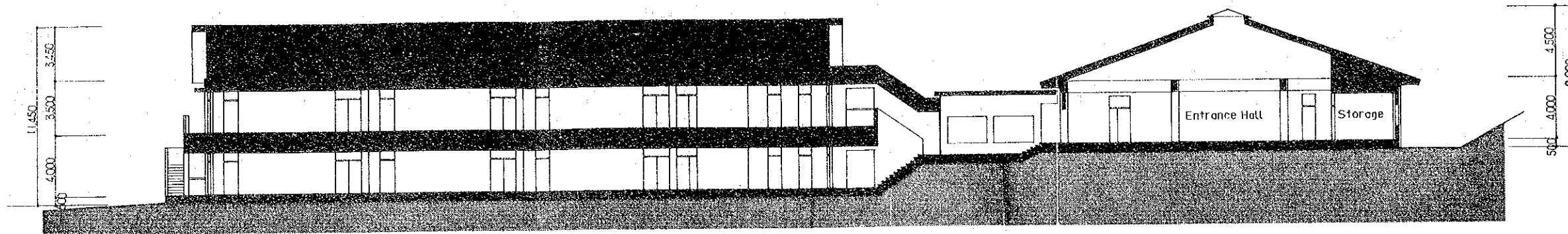
FIRST FLOOR PLAN

NO.	ST.	DATE	APP.	DESCRIPTION	PROJECT NO.	DATE	SCALE	MARKING NO.	INSET NO.
THE ESTABLISHMENT PROJECT OF THE NURSERY TRAINING AND TECHNICAL DEVELOPMENT CENTER FOR SOCIAL FORESTRY IN THE REPUBLIC OF KENYA					MUGUGA				
					RESEARCH BUILDING PLAN				

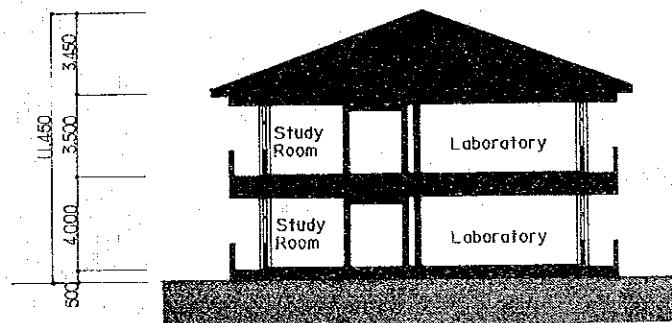


GROUND FLOOR PLAN

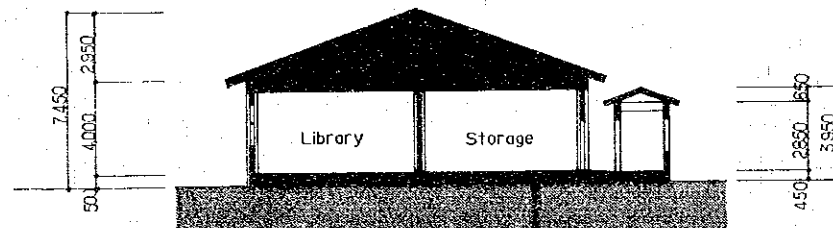
NO.	BY	DATE	APP.	DESCRIPTION	THE ESTABLISHMENT PROJECT OF THE NURSERY TRAINING AND TECHNICAL DEVELOPMENT CENTER FOR SOCIAL FORESTRY IN THE REPUBLIC OF KENYA		DATE	PROJECT NO.	
					MUGUGA				
					DESIGN TITLE	RESEARCH BUILDING PLAN	SCALE	DRAWING NO.	SHEET NO.



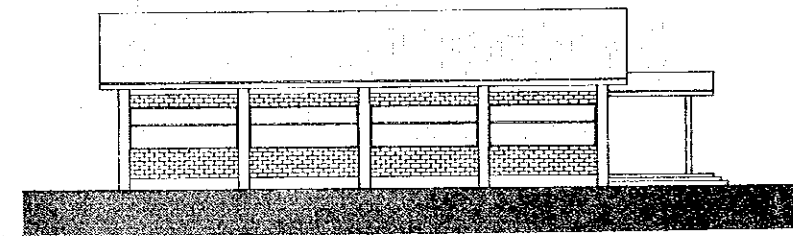
A~A SECTION



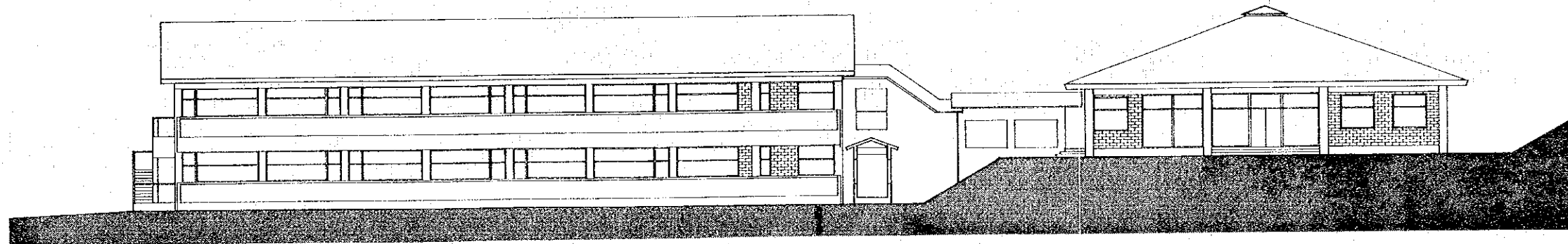
B~B SECTION



C~C SECTION



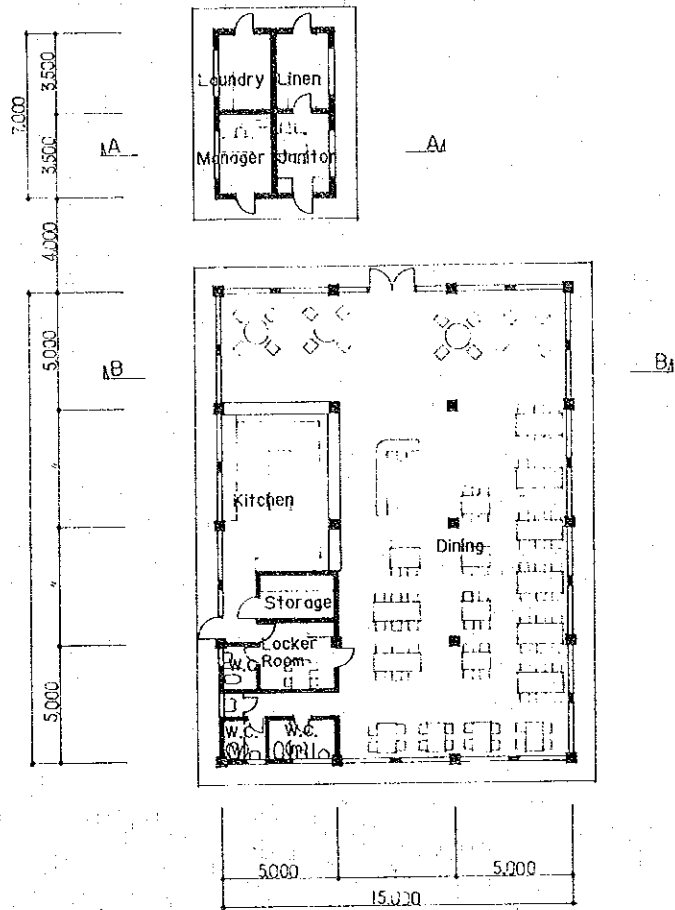
ELEVATION



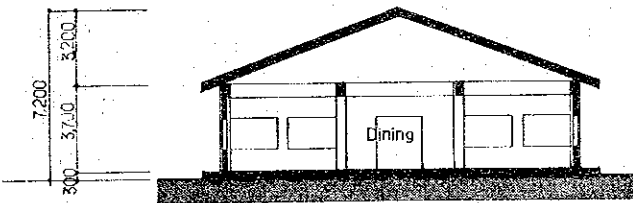
ELEVATION

NO.	BY	DATE	APPR.	DESCRIPTION	THE ESTABLISHMENT PROJECT OF THE NURSERY TRAINING AND TECHNICAL DEVELOPMENT CENTER FOR SOCIAL FORESTRY IN THE REPUBLIC OF KENYA		DATE	PROJECT NO.
					MUGUGA	RESEARCH BUILDING SECTION ELEVATION	SCALE	DRAWING NO. SHEET NO.

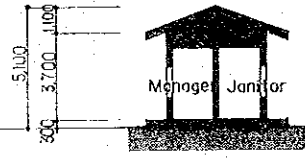
DINING HALL



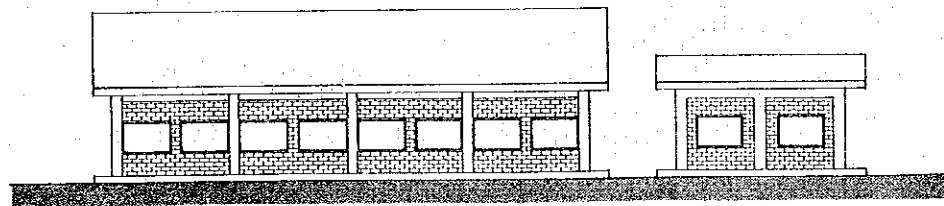
GROUND FLOOR PLAN



B~B SECTION



A~A SECTION

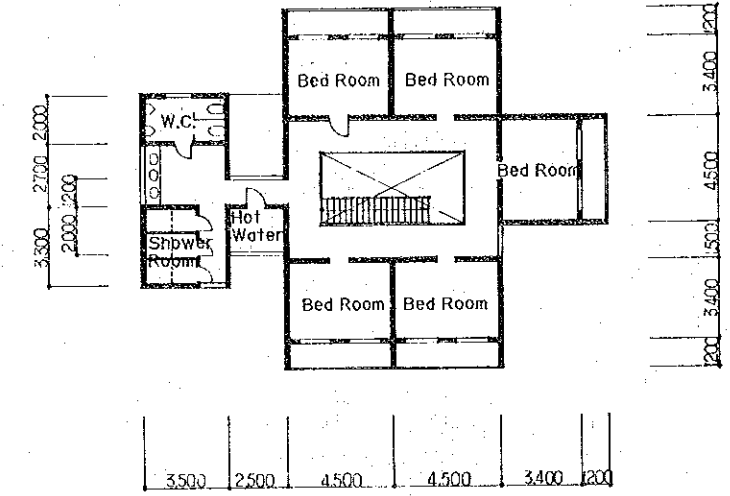


ELEVATION

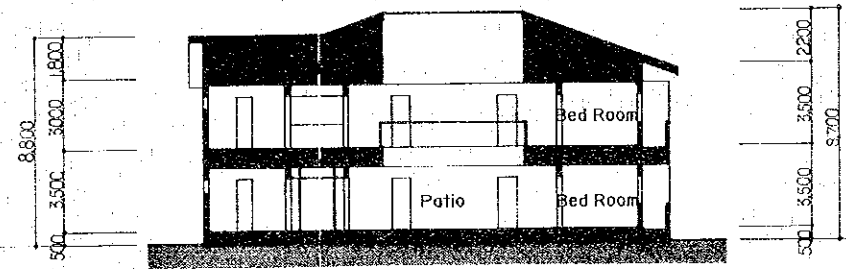
DORMITORY FOR TRAINEES



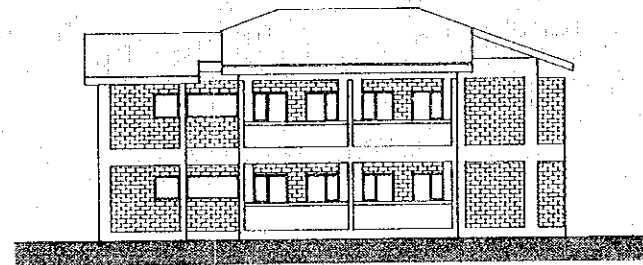
GROUND FLOOR PLAN



FIRST FLOOR PLAN



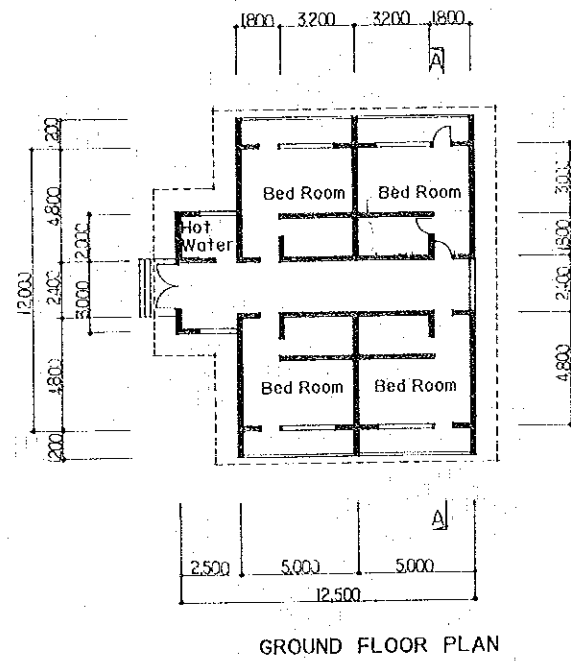
A~A SECTION



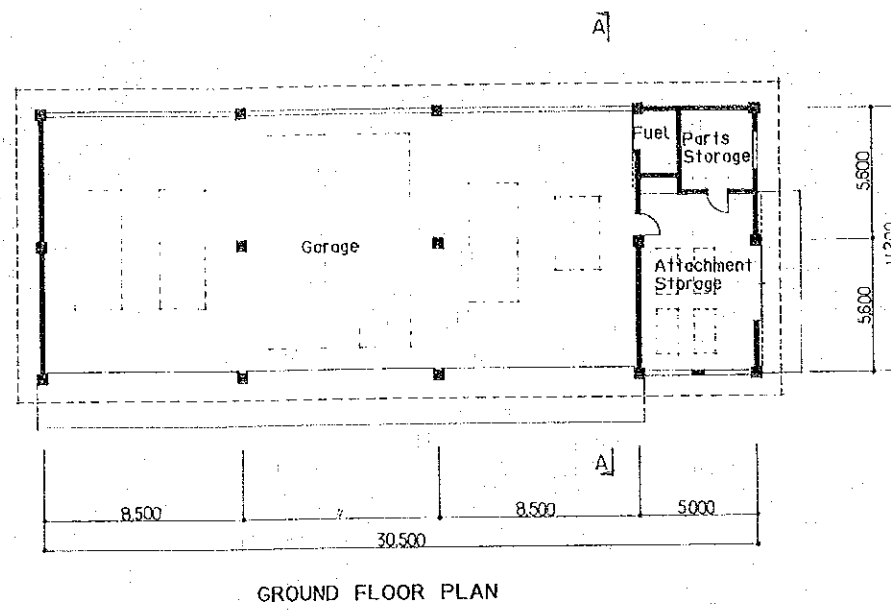
ELEVATION

NO.	BY	DATE	APP.	DESCRIPTION	PROJECT NO.	DATE	SCALE	DRAWING NO.	SHEET NO.
THE ESTABLISHMENT PROJECT OF THE NURSERY TRAINING AND TECHNICAL DEVELOPMENT CENTER FOR SOCIAL FORESTRY IN THE REPUBLIC OF KENYA					MUGUGA				
					DRAWING TITLE DORMITORY FOR TRAINEES, DINING HALL PLAN SECTION ELEVATION				

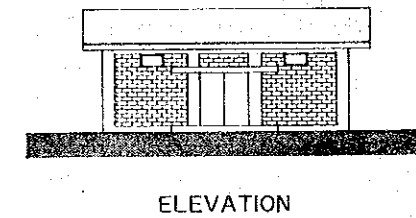
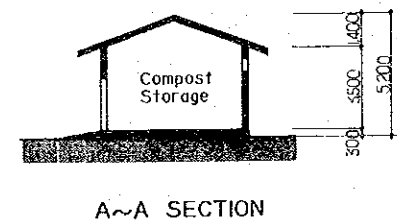
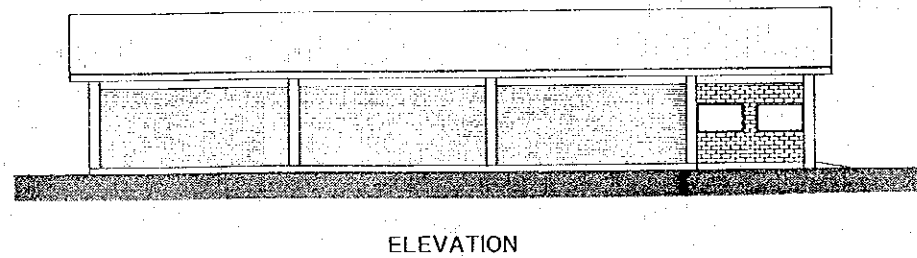
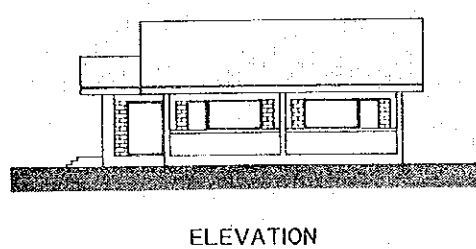
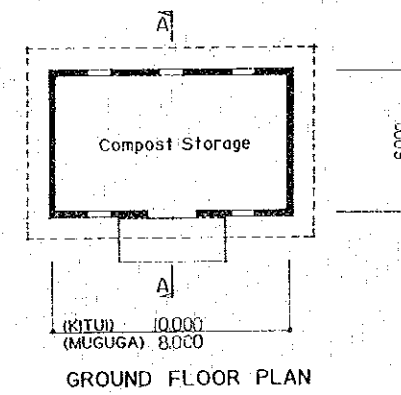
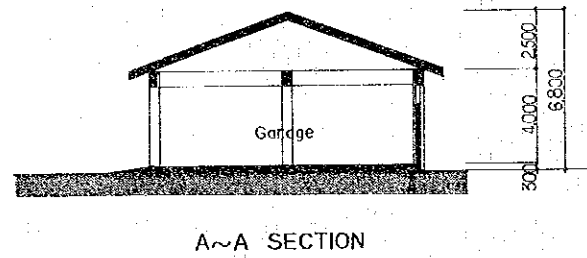
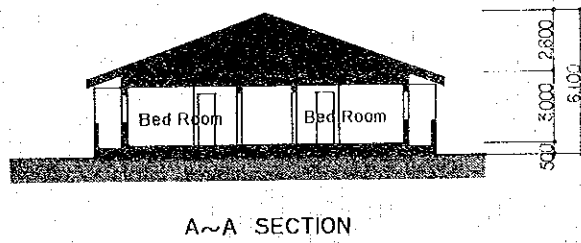
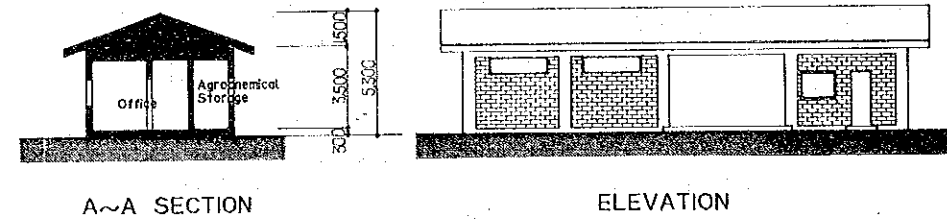
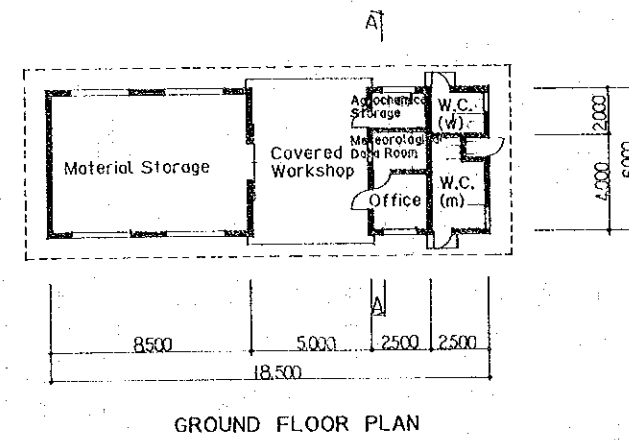
DORMITORY FOR INSTRUCTORS



GARAGE (MUGUGA, KITUI)

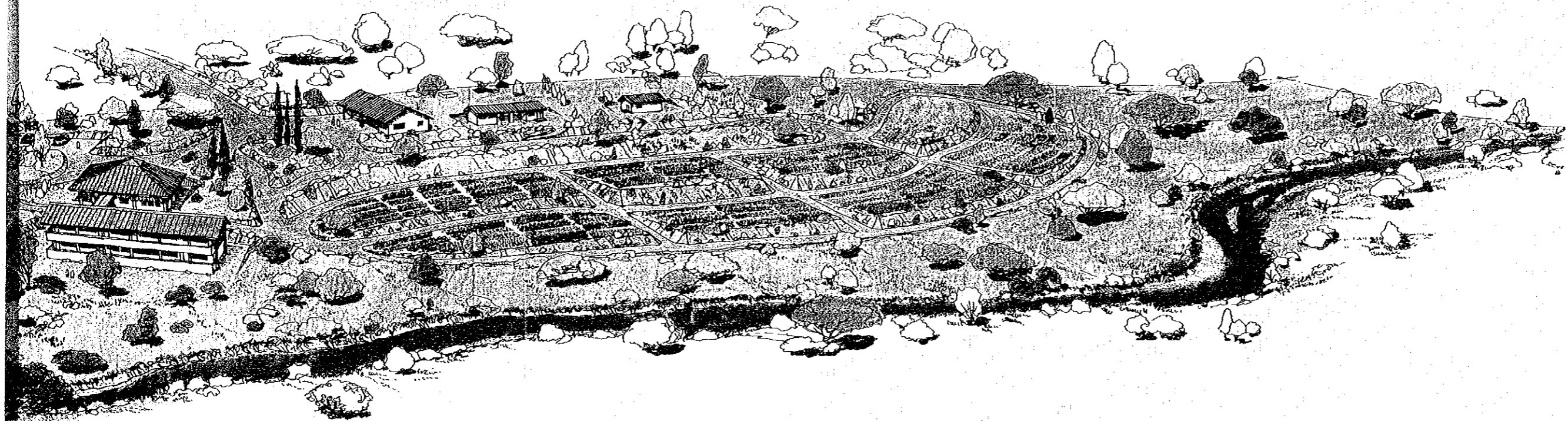


NURSERY TRAINING FACILITIES

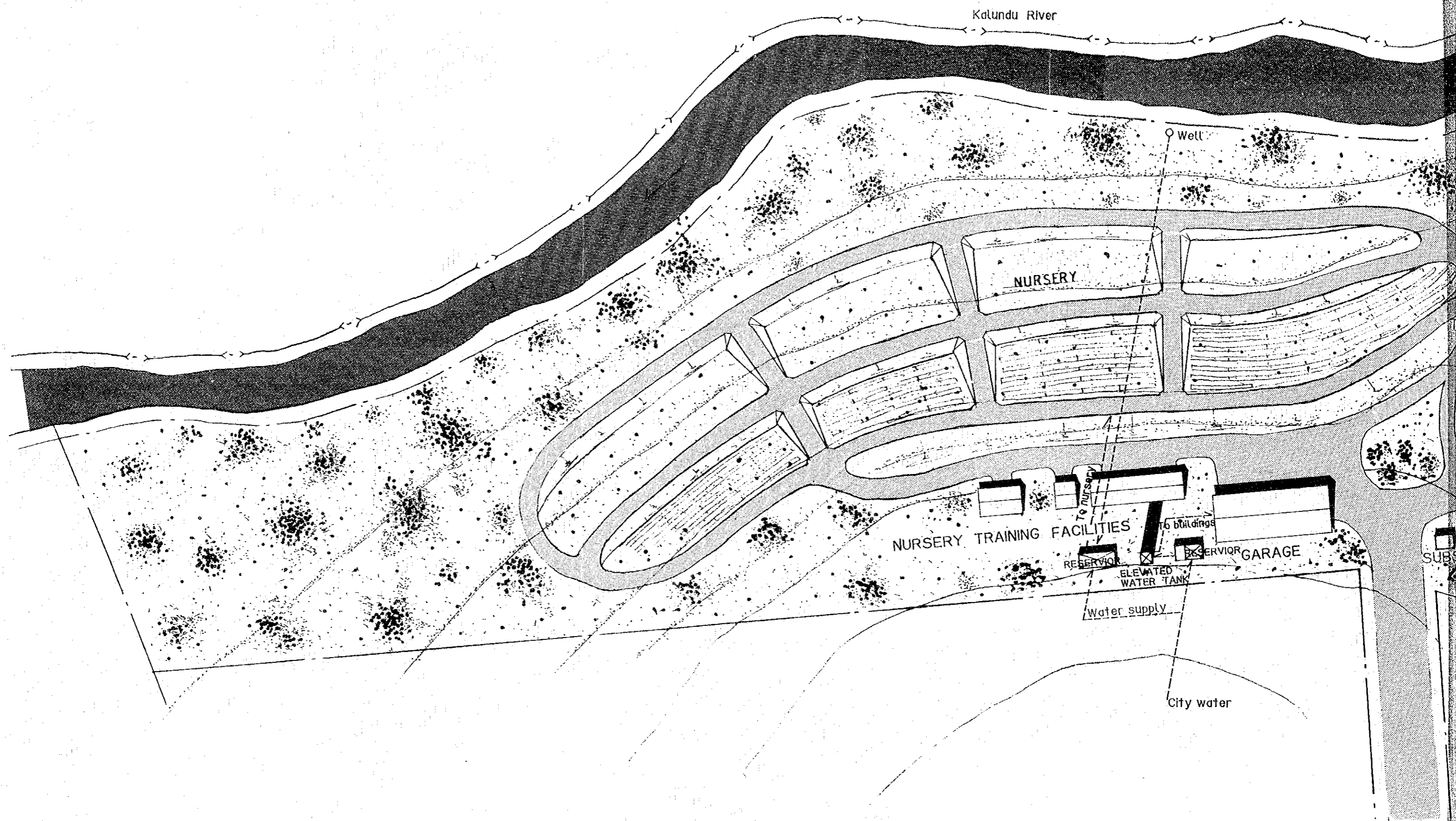


NO.	BY	DATE	APP'D.	DESCRIPTION	THE ESTABLISHMENT PROJECT OF THE NURSERY TRAINING AND TECHNICAL DEVELOPMENT CENTER FOR SOCIAL FORESTRY IN THE REPUBLIC OF KENYA		MUGUGA KITUI		SITE	PROJECT NO.
							DRAWING TITLE DORMITORY FOR INSTRUCTORS, GARAGE, NURSERY TRAINING FACILITIES		SCALE	DRAWING NO.
							PLAN SECTION ELEVATION			SHEET NO.

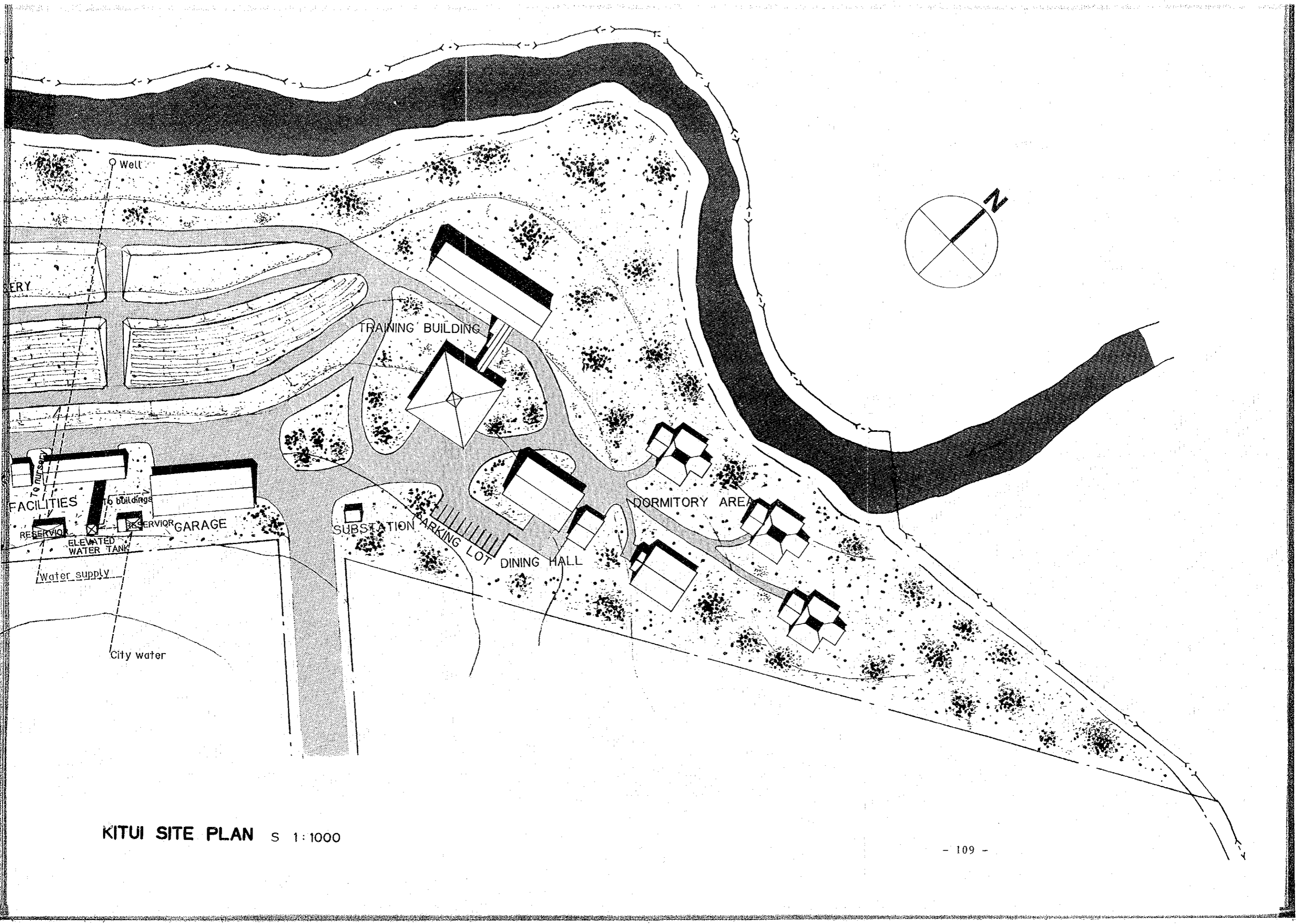




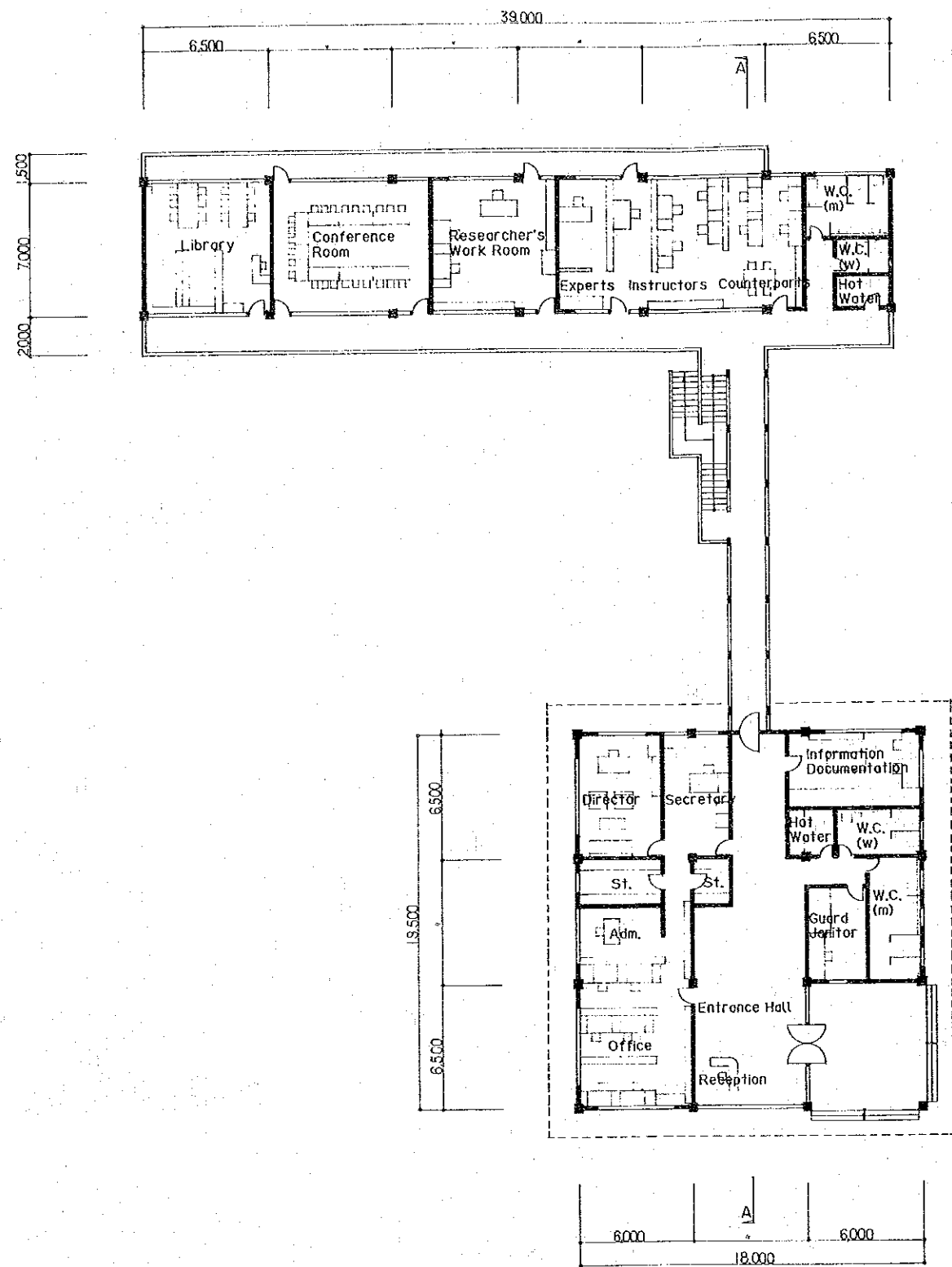
SUB CENTRE, KITUI



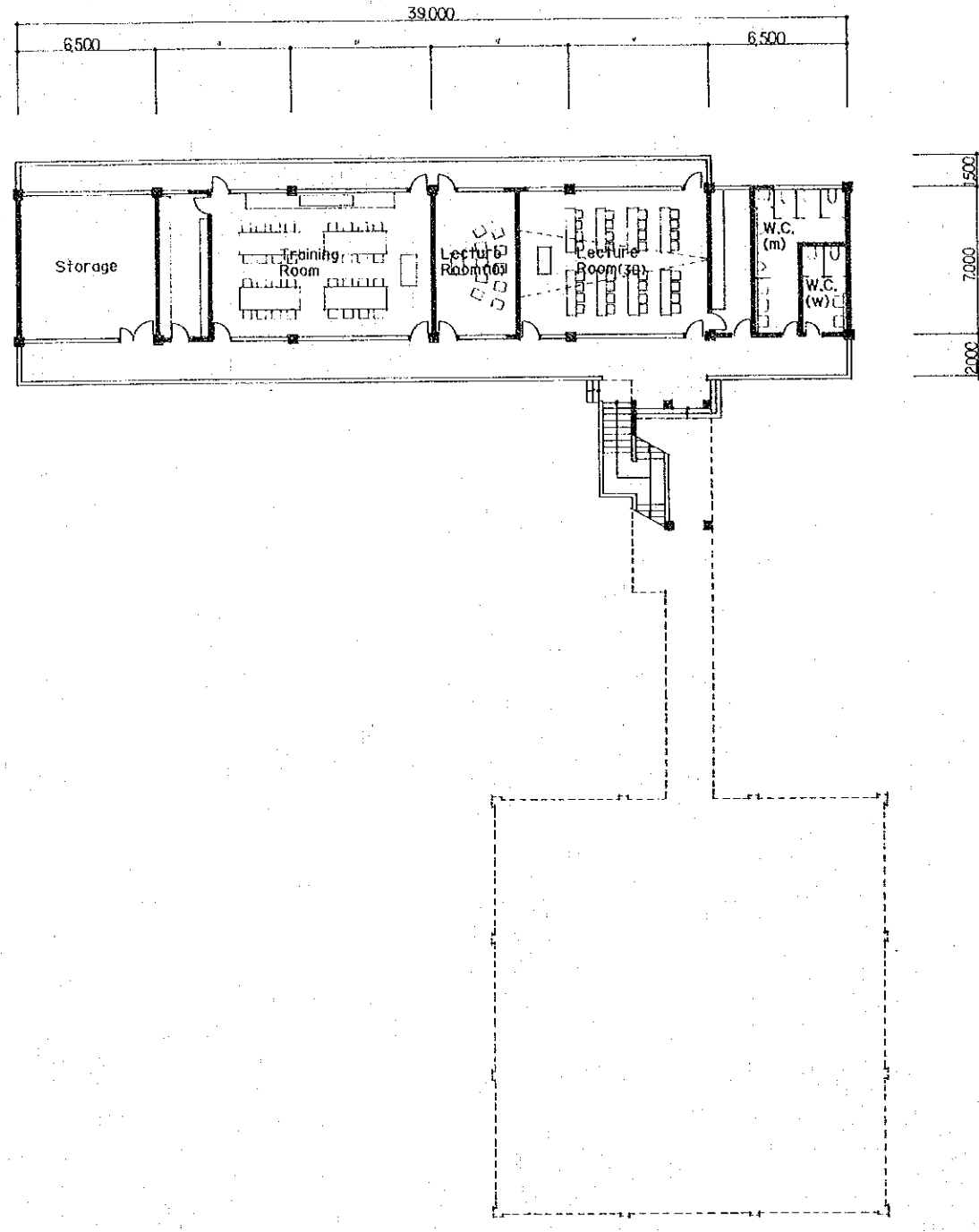
KITUI SITE PLAN S 1:1000



KITUI SITE PLAN S 1:1000

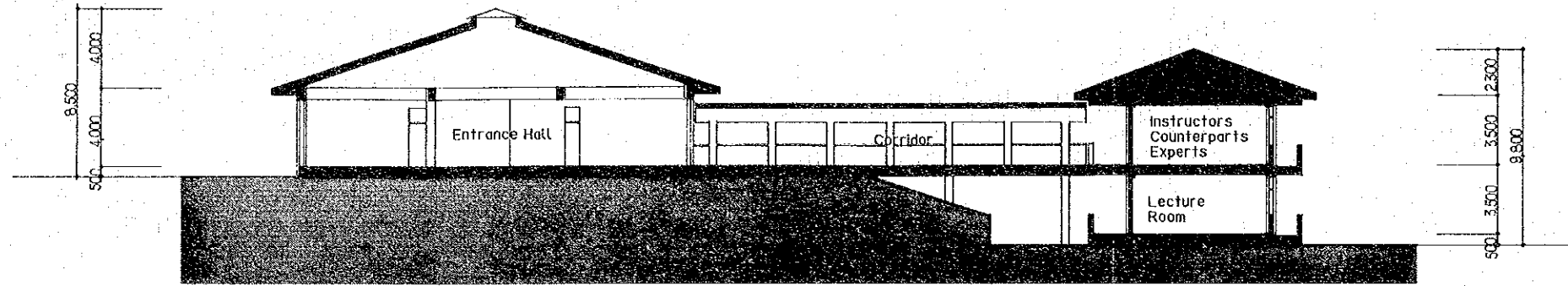


FIRST FLOOR PLAN

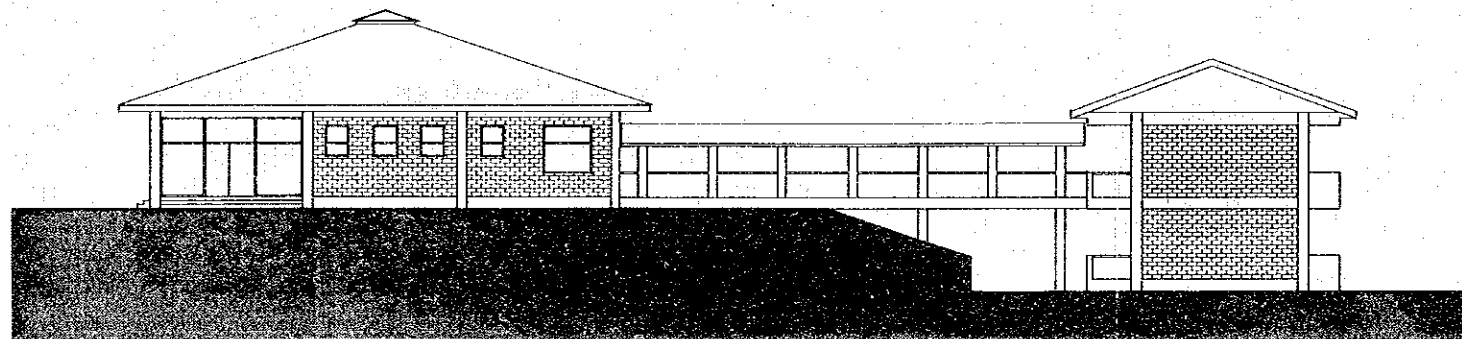


GROUND FLOOR PLAN

NO.	BY	DATE	APPD.	DESCRIPTION	PROJECT NO.	
THE ESTABLISHMENT PROJECT OF THE NURSERY TRAINING AND TECHNICAL DEVELOPMENT CENTER FOR SOCIAL FORESTRY IN THE REPUBLIC OF KENYA					KITUI	
					DRAWING TITLE	SCALE
					TRAINING BUILDING PLAN	SHEET NO.

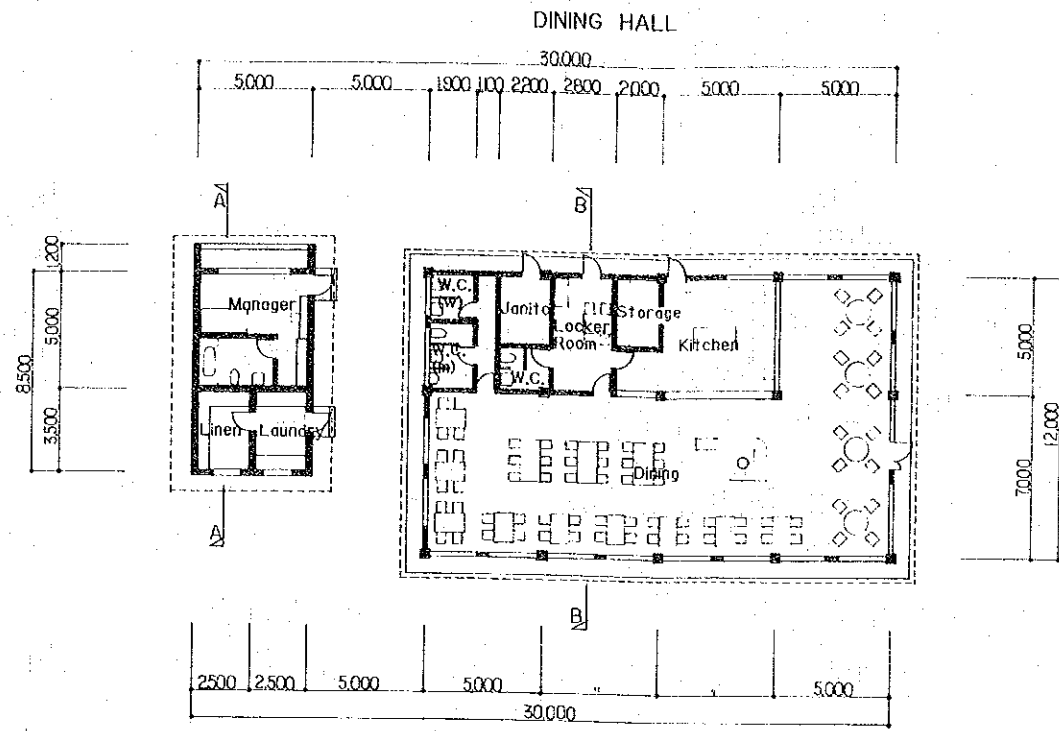


A~A SECTION

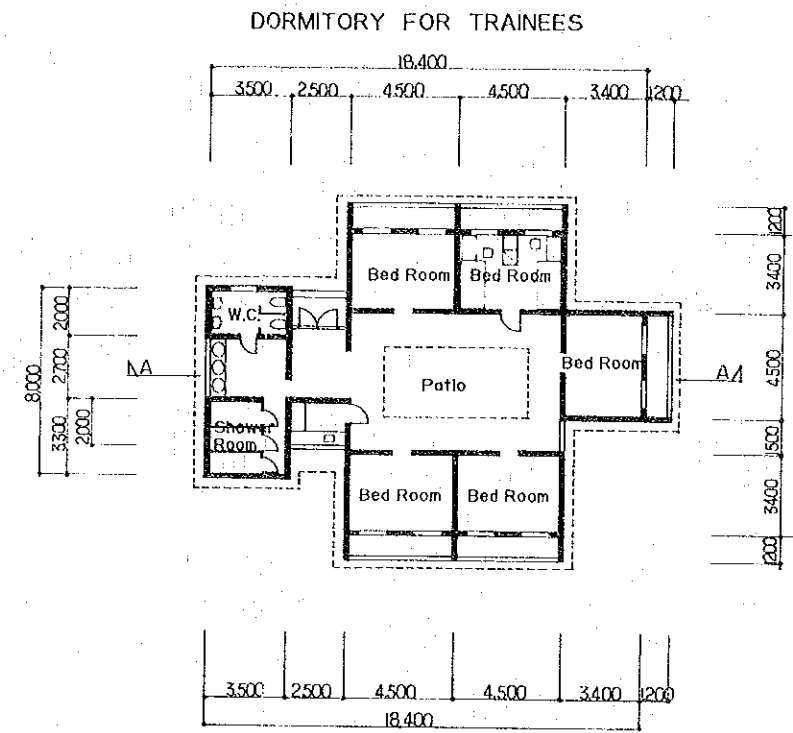


ELEVATION

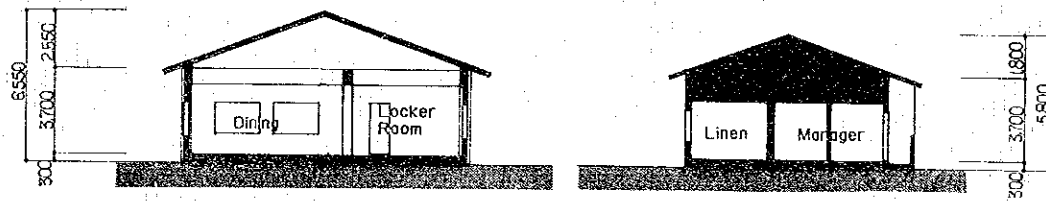
NO.	BY	DATE	APP.	DESCRIPTION	THE ESTABLISHMENT PROJECT OF THE NURSERY TRAINING AND TECHNICAL DEVELOPMENT CENTER FOR SOCIAL FORESTRY IN THE REPUBLIC OF KENYA		KITUI		DATE	PROJECT NO.	
							DRAWING TITLE	TRAINING BUILDING SECTION ELEVATION	SCALE	DRAWING NO.	SHEET NO.



GROUND FLOOR PLAN

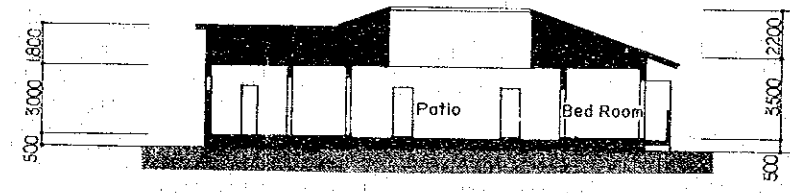


GROUND FLOOR PLAN

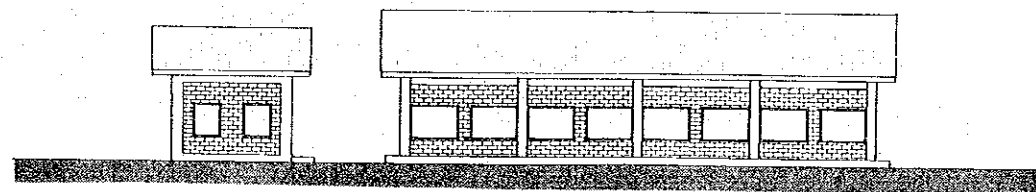


B~B SECTION

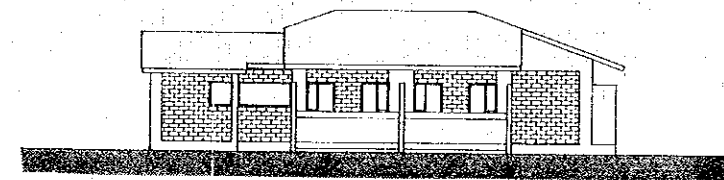
A~A SECTION



A~A SECTION



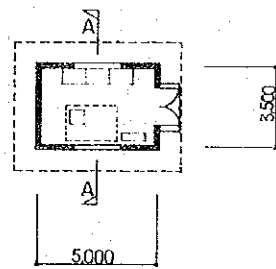
ELEVATION



ELEVATION

NO.	BY	DATE	APPD.	DESCRIPTION	THE ESTABLISHMENT PROJECT OF THE NURSERY TRAINING AND TECHNICAL DEVELOPMENT CENTER FOR SOCIAL FORESTRY IN THE REPUBLIC OF KENYA		DATE	PROJECT NO.
					KITUI			
					DRAWING TITLE: DINING HALL DORMITORY FOR TRAINEES PLAN SECTION ELEVATION		SCALE	DRAWING NO. SHEET NO.

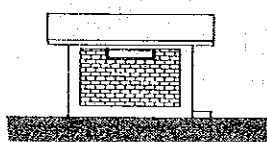
SUBSTATION



GROUND FLOOR PLAN

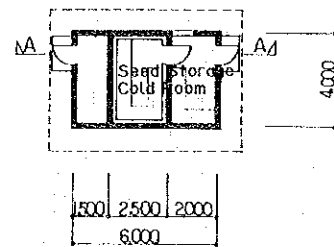


A~A SECTION

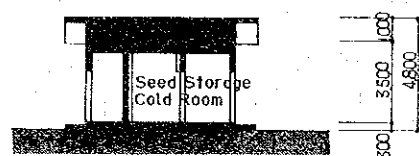


ELEVATION

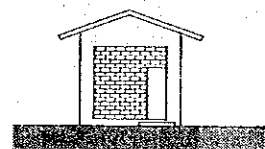
NURSERY TRAINING FACILITIES



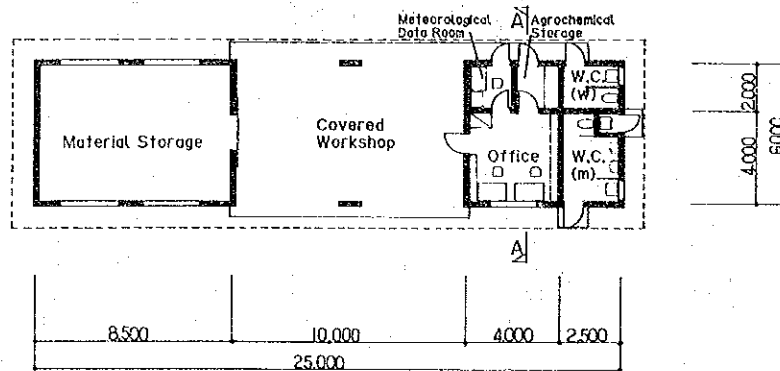
GROUND FLOOR PLAN



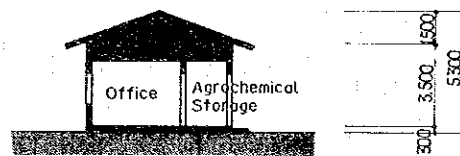
A~A SECTION



ELEVATION



GROUND FLOOR PLAN

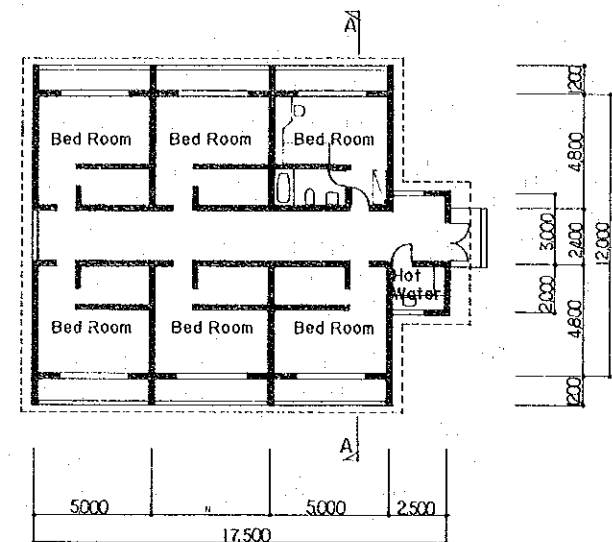


A~A SECTION



ELEVATION

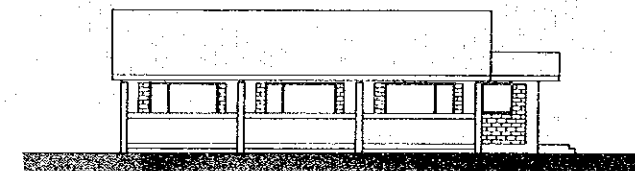
DORMITORY FOR INSTRUCTORS



GROUND FLOOR PLAN



A~A SECTION



ELEVATION

NO.	BY	DATE	APPR.	DESCRIPTION	THE ESTABLISHMENT PROJECT OF THE NURSERY TRAINING AND TECHNICAL DEVELOPMENT CENTER FOR SOCIAL FORESTRY IN THE REPUBLIC OF KENYA		KITUI	DATE	PROJECT NO.
							DRAWING TITLE	SCALE	DRAWING NO.
							SUBSTATION, NURSERY TRAINING FACILITIES, DORMITORY FOR INSTRUCTORS		SHEET NO.
							PLAN SECTION ELEVATION		

5-6 概算事業費

本計画の総事業費は約15.4億円と見積られる。その内訳は、日本国政府負担分が約15億円で、ケニア国政府負担分は約0.3億ケニア・シリング（約0.4億円）である。事業費の積算時点は1985年10月とし、外貨交換レートは1米ドル=16.632ケニア・シリング=217.05円（1ケニア・シリング=13.05円）、1ドイツ・マルク=81.06円とする。

なお、ケニア国政府の負担する費用は次のとおりである。

1) 敷地整備	3,445,200円
2) ゲート, フェンス	7,386,300円
3) アプローチ, 道路	7,308,000円
4) 電気, 水道, 電話引込み	6,224,850円
5) 外 灯	3,340,800円
6) ランドスケイプ	14,302,800円
合 計	42,007,950円

第6章 事業実施計画

第6章 事業実施計画

6-1 事業実施体制

事業実施主体は、ケニア環境天然資源省（MENR）である。

交換公文（E/N.）調印後、日本のコンサルタントがMOW（Ministry of Works, Housing and Physical Planning）と実施設計及び施工監理について契約する。MENRはコンサルタントの支援のもとに、本センター建設についての入札を実施し、入札終了後、日本国籍コントラクターと工事契約を行う。工事契約後コントラクターは、コンサルタントの監理のもとに資機材の調達を実施するのであるが、現地調達資機材以外の資材については、海上輸送及びケニア国内の内陸輸送により現場まで資機材を運ぶことになる。資機材の最初の発注と前後して現地建設サイトでは仮設工事、土工事と建設を進めていくことになる。こうした工事を進めるにあたっては、コンサルトの支援のもとにMENRおよびコントラクターが密接に連絡をとり合う。機材の据え付け工事、仕上げ工事等で建物が完成後、機材の試運転及びコンサルタントによる完了検査等の手続きを経て、施設・機材はMENRに引き渡される。

6-2 工事範囲

6-2-1 日本側分担範囲

(1) 訓練・研究施設の建設

ムグガ

- ① 訓練棟
- ② 訓練生（最大40人）及び講師（4名）用ドミトリー
- ③ 研究棟
- ④ 苗畑関連施設
- ⑤ 車庫

キツイ

- ① 訓練棟
- ② 訓練生（最大30人）及び講師用ドミトリー
- ③ 苗畑関連施設
- ④ 車庫

(2) 訓練及び研究に必要な機材の供与。

(3) 資機材の海上輸送（日本～ケニア（モンバサ）間）及び内陸輸送（モンバサ～ムグガ及びキツイ間）。

(4) 実施設計及び施工管理のためのコンサルティングサービス。

6-2-2 ケニア側分担範囲

(1) 一般事項

- 1) 本プロジェクトのため輸入される資機材に関し、ケニアにおける荷揚げ、通関及び免税手続が速やかに行われるよう措置する。
- 2) 本プロジェクトの資機材及び役務の供与に関して、ケニアにおける関税、内国税その他の財政課徴金を免除すること。
- 3) バンク・アレンジメント(B/A)とB/Aに基づくPayment Commissionの支払及びA/P発行。
- 4) 本プロジェクトの資機材及び役務を供与する日本国民に対し、その業務の遂行のため、ケニア国への出入国ならびに同国に滞在するための必要な便宜を与えること。
- 5) 本プロジェクトに必要とされるケニア国内法による申請、承認書等一切の行為はケニア側で処理されること。
- 6) 本プロジェクト完成後、施設の運転・保守に必要な予算の確保。

(2) 道路整備

- 1) 幹線道路から建設サイトまでの道路整備
- 2) 施設完成後の管理用道路の整備

(3) 敷地造成

- 1) 地上障害物及び地中埋設物の撤去又は移設
- 2) 切土及び盛土を含む敷地造成

(4) 設備関係

- 1) 電力：建設期間中の仮設電力の引込み及び敷地迄の電力線の引込みと変電設備。
- 2) 電話：建設期間中の仮設電話の設置、及び本設MDFまでの外線の引込み。
- 3) 給水：量水器までの引込み。

(5) 外構

- 1) フェンス
- 2) 門及び守衛所
- 3) 造園及び植林
- 4) 外灯
- 5) 苗畑の整備

(6) 家具

個人ロッカー、応接セット、カーテン、カーペット。

6-3 施工計画

本計画実施決定のE/N（交換公文）締結後、設計の基本方針にもとづいて実施設計が始まる。コンサルタントは先方環境天然資源省と設計内容をつめるとともに、入札、工事契約そして施工にかかわる事項について十分に意見調整を行う必要がある。また、着工前には確実に敷地及び周辺の道路などの整備がケニア政府によって完了されている事が必要である。

施工計画については、特に両国工事範囲、電気、水道、電話等インフラの接続等の着工時期を協議し、全体工程を作成し、建設資機材の調達、輸送及び現場施工の適切な時期を策定し、綿密な工程の設定が必要である。工事工程計画の作成では、雨期（3～5月と11～12月）を避けて土工事が行える様に配慮して計画することが望ましい。

また、日本からの調達資機材の現場到着までに50～55日かかるので、現地工事工程との調整を充分に行い、無駄のない工程計画をたてる必要がある。

コンサルタントが行う施工監理は、現地監理者を中心として進め、必要に応じて本社の設計担当者からアドバイスを得る。現地監理者は、現場で技術的問題を的確に判断処理するとともに、プロジェクトを円滑に進めてゆくよう各種調整作業を行う。

本プロジェクトには無償資金協力による施設建設、機材供与だけではなく、プロジェクト方式の技術協力が計画されており、日本人専門家チームが派遣され、育苗技術開発プログラムの策定、訓練カリキュラムの作成等の作業を行うことになっている。従って工事の後半段階、特に訓練用及び研究用機材の据え付けに関して同チームと密接に連携を計り、技術協力がスムーズに運ぶように協力してゆく必要がある。

6-4 調達計画

価格（輸送費を含む）、品質、規格、スペアパーツ確保等のメンテナンスの容易さ、納期、大量発注の場合の調達の難易を基準に調達を計画した。この基準に基づく主要建設資機材の評価結果は表6-1 調達計画のとおりである。

表6-1 調達計画

	調 達 者			備 考
	ケニア	日 本	第3国	
セメント	○			
鉄筋	○			
木材(構造用)	○			
〃(仕上用)	○			
〃(型枠用)	○			
屋根材瓦	○			
サッシュドア		○		現地産なし 調達に時間がかかる
石材	○			
ペイント	○			
配管用パイプ 水道	○			
〃 ガス	○			
電線管	○			
電線	○			
照明器具	○			
スイッチ, コンセント	○			
受電盤, 配電盤		○		調達に時間がかかり, 品質 にも問題がある。
サニタリー機器(便器, 手洗等)	○			
天井材(岩綿吸音板)	○			
床材(テラゾー)	○			
木製ドア	○			
錠, ハードウェア	○			
ガラス	○			

6-5 実施設計及び施工監理計画

本基本設計調査完了後、本計画に関する無償資金協力の閣議決定、日本とケニア両国間の交換公文の締結を経て、ケニア政府と日本法人コンサルタントとのコンサルタント契約を結んだ後、以下の実施設計、施工監理業務を開始する。

6-5-1 実施設計及び入札業務

(1) 現地測量

基本設計調査において決定された基本設計諸元をもとに各施設建設予定地点の詳細な測量を実施する。

(2) 実施設計、入札書類の作成

(1)項で行った詳細測量の結果をもとに実施設計、入札書類(案)の作成を行い、ケニア政府関係機関と協議する。

(3) コントラクター決定のための入札及び契約締結

入札広告、入札説明会の開催、入札書類発行等を行う。一定の入札期間をおき、入札書受理後速やかにその審査を実施し、ケニア政府と日本国籍建設業者との工事契約事務を代行する。

6-5-2 施工監理

(1) 日本での施工監理

ケニア政府環境天然資源省(MENR)と日本国籍コントラクターとの契約締結をもって、本計画の施工監理が開始される。コンサルタントは工事契約締結後、直ちにコントラクターより提出される施工図書等の承認業務をMENRに代って行うものとする。

(2) 現地における施工監理

コンサルタントは着工前打合せ、資機材の輸送、施設建設、機材据付、工事完了検査等それぞれの品質管理、出来高監理についてコントラクターの指導、監督を行い、定められた工期内に業務を確実に完了するものとする。

6-6 実施スケジュール

本事業の実施には、交換公文(E/N)署名後21ヶ月間を要する。その内訳は、E/N締結後、コンサルタント契約の承認までに1ヶ月、実施設計及び入札書類の作成に3ヶ月、入札業務に2ヶ月、建設工事に15ヶ月である。事業実施スケジュールを表示すれば表6-2のとおりとなる。

表6-2 実施スケジュール

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
日本 政府	● E/N	○ コンサル契約認証					○ 工事契約認証																
ケニア 政府	● E/N	○ コンサル契約					○ 工事契約																
コンサルタント	○ コンサル契約		■ 実施設計		○ 入札		■ 監理																
コントラクター																							
日本 政府																							
ケニア 政府																							
コンサルタント																							
コントラクター																							

一期

二期

運営

竣工

6-7 管理運営計画

6-7-1 管理組織及び要員計画

本センターが完成し、ケニア政府に引渡された後、施設の運営・維持管理が円滑になされるためには適切な管理運営体制を確立する必要がある。本センターの管理運営主体は環境天然資源省であり、日本の技術協力期間中は、日本側及びケニア側関係者で構成される合同委員会（Joint Committee）の決定のもとで、同省（MENR）、林業研究所（KEFRI）の一組織として研究・訓練を実施する。以下に管理組織の概略を示す。（本センターの管理組織の詳細は図6-2を参照）

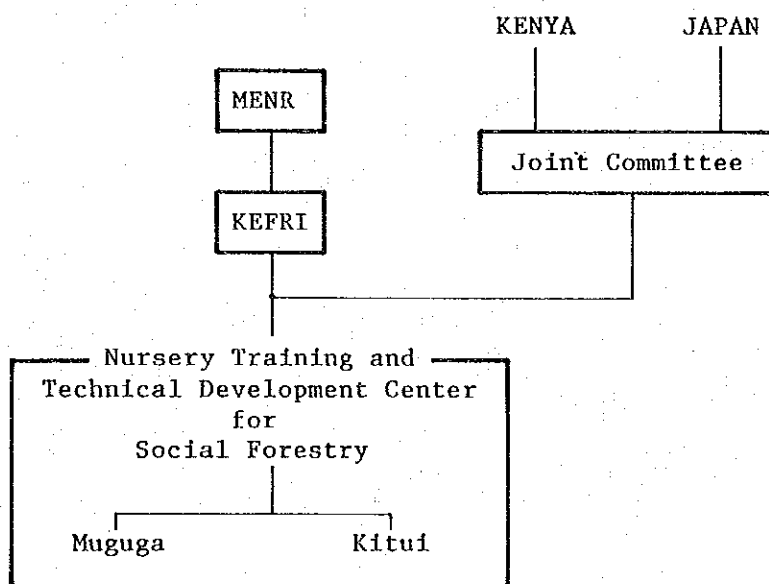
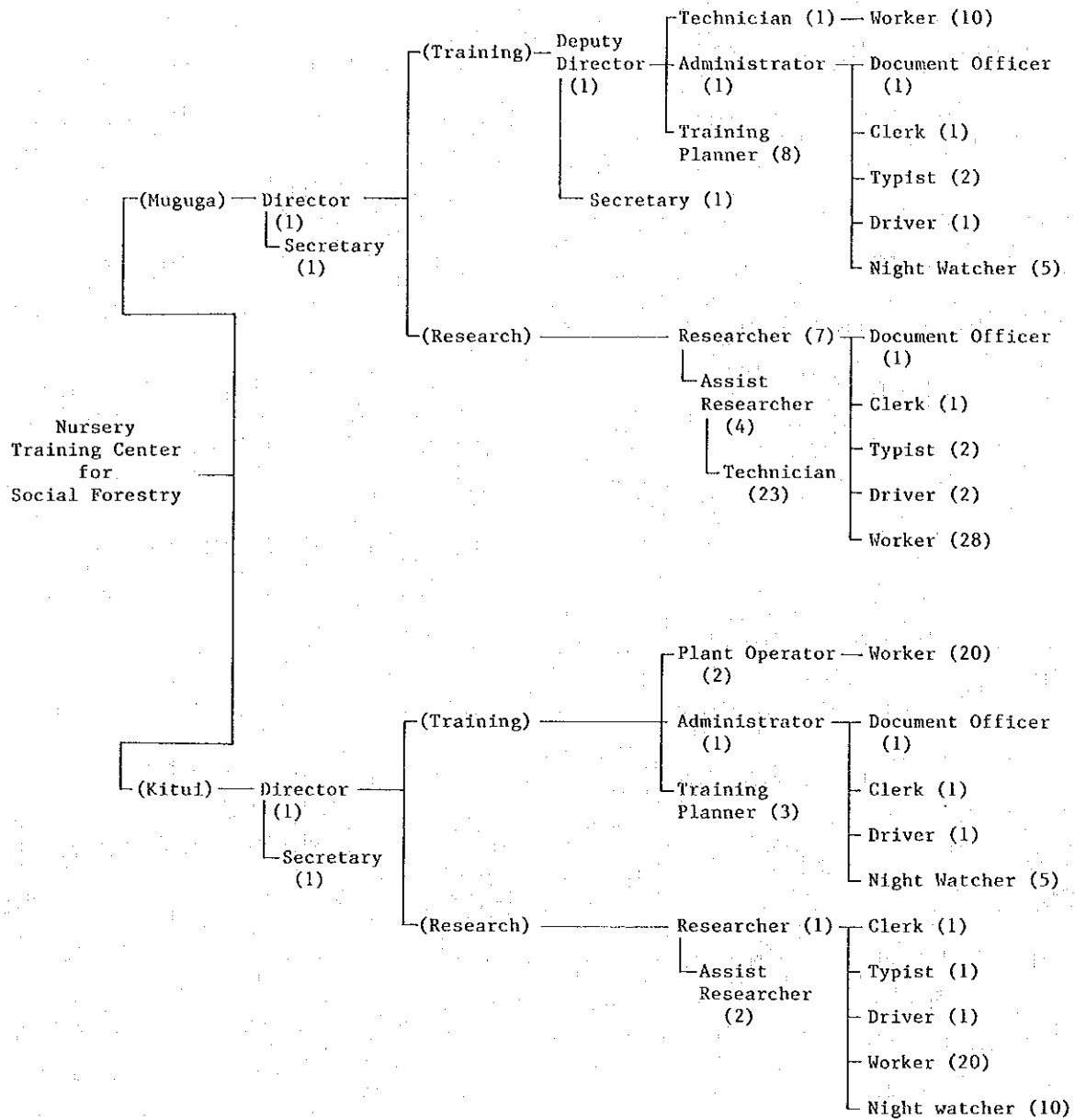


図6-1 管理組織図

本センター運営のための要員は、3-1-3「組織及び要員計画」に述べたように、ムグガの訓練部門に25人、研究部門に75人、また、キツイの訓練部門に33人及び研究部門に36人の合計169人の人員が配置される予定である。これら要員の配置を系統的に示すと図6-2となる。



(注) ()内は人員数

図6-2 林業育苗訓練センター組織図

6-7-2 運営管理費

本計画は環境天然資源省，林業研究所の予算で運営される予定である。人件費，光熱費，雑費等で構成される年間の運営管理費は約3,747,500Ksh(48,904,875円[1Ksh=13.05円])になると予想される。内訳は表6-1のとおりである。(表6-1の詳細は，資料編のとおりである。)

表6-1 運営管理費(年間)

1. 人 件 費	2,512,020 Ksh
2. 電 気 料 金	815,035
3. 水 道 料 金	6,926
4. 軽 油 (発電気用)	4,365
5. ガ ス 料 金	68,473
6. 雑 費 (1~5×10%)	340,681
計	3,747,500 Ksh

第7章 事業評価

第7章 事業評価

林業育苗訓練センターは、訓練及び研究開発を目的に設立されるもので、それ自体が直接経済的便益を生ずるものではないが、本センターの設立及び本センターでの訓練活動及び研究開発により次のことがその効果として期待できる。

- (1) 従来、何ら組織的、体系的教育訓練を受けず、各苗畑の運営あるいは指導にあっていた林業局職員に対して充実した研修を実施する事により、管理者レベルから現場担当者レベルまで、毎年115人の訓練生が必要な知識・技術を身につけ、さらに各苗畑においてそれらの技能を普及させる事が可能になり、ケニア政府計画の苗木増産、林地拡大及びソーシャルフォレストリーの普及・発展に大きく貢献すると考えられる。
- (2) 充実した設備をもった本センターでの研究開発により、本センターでの訓練内容が充実すると共に今後研究が進められようとしている育苗造林技術（特に半乾燥地における）の開発に対しての多大な効果を期待できる。

上記2点は、直接的な効果として期待できるもので、これら2点が十分成果をあげるならば、更に次の間接的な効果を期待できる。

- (3) 人口増加による薪炭需要に対して絶対的不足の予想がたてられているその供給量の確保に対する多大な効果をあげる事ができる。
- (4) 薪炭材の供給不足を補うための木材蓄積を超えた無計画な過伐を防止し、ひいては自然環境保全、土壌保護、水源涵養、砂漠化防止等に貢献し、さらにこれらの効果は農業畜産治水事業、生活環境のアメニティに対して好影響を与える。
- (5) 家庭用燃料として輸入される原油の増加を抑制し、慢性的貿易赤字の状態にあるケニア経済に対するある程度の改善効果を及ぼす事が期待できる。

第8章 結論・提言

第8章 結論・提言

8-1 結論

林業育苗訓練センターは、国内エネルギー消費の70%余りを占める木質系エネルギー（そのほとんどが薪炭）供給の増加及び国土保全を課題とする諸計画の一環として計画されているものであり、その設立はケニア国家経済開発計画における国内資源の有効利用という基本的政策に適合した事業である。木質系エネルギーは石油などの化石燃料と違い、太陽エネルギー、水、空気、土を利用して得られる再生可能なエネルギー源であり、それへの開発投資は非産油途上国であるケニアにとって賢明な撰択であると言える点において、林業振興及び国土保全を旨とする本計画は妥当性を持ち、計画実施の意義は大きいと結論づけられる。

さらにまた、ケニア政府の薪炭等のエネルギー需給見通しが示す林業振興の緊急性から言って、本計画の実施は高い優先性を持つと判断される。

8-2 提言

本センターの効果的な運営と活用のために次の事項を提言する。

- (1) 本センターの研究・訓練は、森林という自然を相手にするもので、長い時間と労力を要する仕事であり、目に見える成果を短期間であげるには様々な困難が伴うと考えられる。しかし、それにもかかわらずケニア政府は持続的な努力、即ち充分な運営予算の配分、有能な人材の配置等に裏づけられた研究・訓練活動を続ける事が期待される。
- (2) 研究施設においては、特に乾燥地域における林業・育苗技術の開発、アグロフォレストリーなど農業と一体になった林業の研究、また住民の生活と密着し、工業的あるいは商業的生産に重点を置くのではない住民のために、住民が進んで取り組めるものとしての林業(Social Forestry)の研究が新たに重要な課題となってきた。こうした新たな研究を発展させ、その技術的成果、あるいは考え方を広く一般に普及させるため林業局職員をはじめとする政府職員の一層の努力が期待される。
- (3) 本計画の訓練施設における訓練は、当面林業局職員を訓練対象としているが、将来は林業育苗に携わる一般農民等に対する教育訓練について体制の整備を行うと共に、キツイ以外の6つのRegional Centerの設立を急ぎ、広く一般国民を対象としたマス・トレーニングの体制を早く整えるよう提言する。

以上3点の他、具体的提言として以下の諸事項について述べる。まず研究施設については、

- (4) 研究器具・装置の個人使用あるいは各研究室間の共同利用に際して、その有効活用が計れるよう管理システムを確立する。
- (5) 気象データ、試験データ等の蓄積・整理について充分な計画(ファイリング・システム・

データベース作成等)をたて実行する。

また、訓練施設については、

(6) 教育スタッフ(Instructor)の確保、また非常勤講師の確保が訓練計画の実施に支障がないように計画的に行う。

(7) 本センターで訓練を受けた人々が各苗畑等において習得した技術、知識を充分活用し、普及・指導活動が円滑に行われるよう配慮する。

また、研究・訓練に共通する事として次の事を提言する。

(8) 維持管理運営費に対する十分な予算措置を講ずる。

(9) 日本側の技術協力専門家とチームワークをとり、本センターの運営が円滑に進むようにする。

第9章 資料編

第9章 資料編

9-1 調査概要

9-1-1 調査団員リスト

(1) 基本設計現地調査（'85, 8/12～9/1）

団 長	小杉山文右エ門 森林開発公団業務部造林課長
業務調整	横 倉 順 治 国際協力事業団無償資金協力計画調査部基本設計調査第一課
団員（建築計画）	福 永 謙 二 ㈱福永総合建築設計事務所
団員（建築設計）	朝 吹 正 行 ㈱福永総合建築設計事務所
団員（設備計画）	釜 谷 茂 ㈱福永総合建築設計事務所
団員（林業開発）	日 野 幸 敏 ㈱海外林業コンサルタンツ協会

(2) ドラフト説明（'85, 11/24～12/3）

団 長	金 井 盛 一 国際協力事業団無償資金協力計画調査部基本設計調査第一課 課長代理
団員（建築計画）	福 永 謙 二 ㈱福永総合建築設計事務所
団員（林業開発）	日 野 幸 敏 ㈱海外林業コンサルタンツ協会

9-1-2 調査日程

(1) 基本設計現地調査

順日	月日	曜	調査・打合せ等
1	8・12	月	成田発 →
2	13	火	
3	14	水	← ナイロビ着 大使館表敬, JICA事務所にて調査事項・日程打合せ, KEMRI調査
4	15	木	ムグガ, KARI内林業研究部にて合同協議, 日程打合せ, 質問リストの説明・提出
5	16	金	キツイ計画地調査, District Water Dept.にて水の事情聴取
6	17	土	ムグガ計画地調査, インフラ関係調査
7	18	日	資料整理, 団内打合せ
8	19	月	関連施設調査(Jomo Kenyatta College of Agriculture and Technology, National Horticultural Research Station)
9	20	火	Minutes 打合せ ムグガ, インフラ調査, MENR, MOWにて資料収集, 市場調査
10	21	水	" 市場調査
11	22	木	" キツイ計画地調査, 試験掘り, インフラ関係調査
12	23	金	KARI施設調査, 市場調査, MOWにて設計について事情聴取, 資料収集
13	24	土	資料整理
14	25	日	資料整理, 団内打合せ
15	26	月	Minutes 署名, MOWにて設計資料収集, 団内打合せ
16	27	火	官側帰国 KARI林業部にて設計打合せ, MENRにて質問リストの回答確認, 組織について確認, 森林局にて組織について確認, 森林関係資料収集
17	28	水	水道局と打合せ, 設計資料収集, 資料整理
18	29	木	KARIにて林業全般確認, 敷地詳細測量依頼を再確認, MENRにて組織再確認
19	30	金	資料整理, JICA事務所及び大使館に報告, あいさつ
20	31	土	ナイロビ発 →
21	9・1	日	← 成田着